

防災マップ作り

7月5日（日）、生活科学科プロジェクトチーム4人と農業土木科の生徒計7人が諫早農業高等学校の近くの幸町を歩き、防災マップ作りに取り組みました。

防災マップ作りには本校生徒7人のほか、国土交通省や幸町の町内会、消防団、老人福祉施設などから約25人が参加してくださいました。本明川洪水ハザードマップに基づき、浸水が想定される地域を重点的に回りました。



避難の際に危険とされる、ふたのない側溝やガードレールのない水路のほか、避難可能なビルやマンションの位置なども確認しました。確認したポイントは白地図に書き込んでマップを作りました。防災目線で地元を見たとき、危険な場所が多いことに改めて気づきました。町の皆さんの一刻も早い安全な避難に貢献できればうれしいです！

